

JPPF事務局 報告

広報委員会／マーケティング委員会

2024年度

パラサポ助成金を活用して活動した。

- イベントの実施
- 新ビジュアルの作成
- パートナー企業開拓に向けたアタックリストの作成

2024年度

●イベントの実施

- ・ スポンサー獲得につなげるためのストーリーや実績作りのため。
- ・ パラ・パワーリフティング流のインクルーシブな社会への取り組みを発信。

⇒ スポンサー獲得という成果はナシ。

⇒ 事例を作ることができ、2024年度後半からの営業活動に生きている

●筋肉×教育：小学校での交流授業を実施

5月：京都（青谷小学校）

6月：東京（築地京橋小学校）

10月：福島（荒井小学校）

●筋肉×笑い：身体を動かす＆笑ってストレス発散

@ 銀座松竹スクエア お笑い芸人「四天王」

●新ビジュアルの作成

パラ・パワーリフティングの筋肉・力持ちの面だけでなく
多面的な魅力を伝えたい。より多くの方が興味関心を持って
聞く耳を持ってほしい ⇒ スポンサー獲得につなげたい

地味から、カラフルへ。

均整と美がある競技のイメージへ。

男ぼさから、女性も関われるイメージへ。

- ・ パワーで持ち上げる中にある、水平垂直という均整のとれた美しさ
- ・ プレートを圧倒的な重さであり目標であると同時に
希望と未来のカラフルな虹色として捉える

パラ・パワーリフティング

身体で生きるすべての人をエン
パワーする言葉

パラパワーリフティングから
発信することで
言葉にさらなる深みが



すべての体に、最高記録は眠っている。

持ち上げるだけ、の だけ、に広がるドラマがある。

バーベルをおろして、あげる。その間たったの3秒。

けれどもその3秒は、選手やそれを支える人、観る人にも
たくさんの物語を届けます。勝敗だけじゃない。

あなただけの物語を、ぜひ見つけてください。



公式サイトへ



観戦する

筋肉をうつくしくした、
生き様がうつくしい。

胸・肩・三頭筋。パラ・パワーリフティングは、
腕力だけで競われます。それだけに、自分が費や
した時間や努力、そして思いが反映されやすい
競技でもあります。たとえば事故によって、自分
のそれまでの夢を一度失ってしまった。そんな人
に、この競技は明確な次の目標を示してくまし
た。そうした選手の生き様が、この競技のドラマ
性を生み出しています。



挑戦する

この競技をやるときひとは、
必ず上を向く。

67トン469.5キロ。これは、これまでパラ・パワー
リフティングを体験した1799人の方が持ち上げ
たバーベルの総重量。こんなに重そうものを持
ち上げるなんて、私には無理。最初はそう言っ
ていた人が気をつけば、もう1回！と笑っている。
自分の体にこんな力が宿っていた。そんな発見は
自信になって、あなたの明日の挑戦を支えてくれ
るはずです。



繋がる

個人競技でも、
チームプレイ。

パラ・パワーリフティングが評価するのは、力の
強さ一点です。このシンプルな競技性が、公平で
ひらかれた場所をつくりだしてきました。そこに
いるのは競技者だけではありません。芸人、デザイ
ナー、学生など。異なる経歴をもつ人たちが、パ
ラ・パワーリフティングという場所でひとつに
なりはじめています。あらゆる人の、居場所になる。
ぜひ一緒にパラ・パワーリフティングを楽しみましょう。



公益財団法人日本財団パラスポ
ーツサポートセンターの助成を受けて
作成しました

3/1～3/2
全日本から配布開始

全日本 報告（広報面）

全日本 露出

- ▶ メディア取材 13社申込 → 11社が来場 （カメラマン、WEB記者がほとんど）
- ▶ 日経新聞から取材申し込みはあったが来場しなかった
- ▶ 毎日新聞（八王子版）取材はあったが掲載日は後日で調査対象外（3/23 田中選手、日本女子初の100キロ挙げ）
- ▶ 読売新聞 大会当日にリザルト、選手コメント、オフィシャル写真提供でWEB記事掲載→露出UPに貢献

露出の広告換算値 ￥144,283,569（2022年並みに露出が戻る）

- ▶ 複数回にわたるプレスリリース配信によりWEBでの転載・露出が大きかった

WEB 403件 108,194,097円

テレビ・ラジオ・新聞 12件 36,089,472円

振り返り

世界との実力差に気が引けて、選手の活躍や競技の魅力よりも、新しい挑戦や社会的メッセージに繋がりそうなトピックスを発信することに注力

ヒアリングでわかったこと

メディアやファンにヒアリング ⇒ 一番の興味は選手の活躍という声

反省

- ・ 情報を盛り込みすぎて何が言いたいたかが分からない状態となった
- ・ パラ・パワーリフティング連盟は「パラ・パワーリフティング」があつてこそ。
⇒ 伝える相手によって表現の仕方は変えるとしても

「核」はパラ・パワーリフティングの活性化・選手強化・選手の活躍

- ・ 強化に関わらない部分で、ではなく事務局の立場から強化に関われること、という視点が必要

2025年度

■事務局の目標

「世界の大舞台で本領発揮」

※世界の大舞台＝世界選手権

※本領発揮＝全員が自己ベスト更新

その姿と結果を通して・・・

企業やファンの方々を元気にする・勇気づける・モチベーションをアップする

■目標に向けて

- ①環境面の改善やサポート⇒お金が必要⇒スポンサー獲得（マーケティング）
- ②チーム力アップ⇒コミュニケーションの部分をもっと積極的に⇒広報

2025年度

パラサポ助成金は、団体の自立に向けた活動が対象となり、普及イベントやグッズ作成への支援は採択されなくなった。

申請相談時期にパラサポと相談し、

- マーケティング活動の業務委託（佐藤勇介氏）

- PU活動

この2つについて助成金獲得の目途が立ち申請中。

マーケティング委員会

- 2025年2月より佐藤が着任（企業勤務／アジパラ／JPPFの3足のわらじを、アジパラ／JPPFの2足に）
- 2024年度は、3,000件のDM送付（後述）の反響先へのフォローと訪問を担当
- 2025年度は、第1フェーズとして反響先を訪問し、練習見学や体験イベント実施をゴールと摺る
- イベント実施後のフォローを重ね、長期的なスポンサーになっていただけるよう関係構築
- 反響先はイベント実施未実施に関わらずリスト化し、大会招待など継続関係構築にもつなげる

マーケティング委員会

- 2024年度目標：3000件のDM送付 → 顧客候補リスト30件作成。営業活動は2025年度で本格的に実施予定
- 3000社へDM送付、3/24現在65件反応、訪問またはオンライン9件実施済み、今現在 成約なし。

2025年度の 達成目標	25年度中に達成したい状態	小口協賛(10～20万円)×15社での事例実施を経て、次年度中規模支援への切り替え検討(50万円程度)が6社目標。その6社はパラ・パワーリフティングを活用することに興味がある企業。主催大会に招待し体感してもらうことでスポンサー企業になることに積極的になる、という流れを作る。
	数値目標 ※根拠も記載ください	小口協賛(10～20万円)×15社、金額目標300万
本事業の中長期計画 (収入や会員数等)等)	2026年度	継続支援(300万)、新規200万円 合計500万円のスポンサー収入獲得
	2027年度	5社継続支援(500万)、新規200万円 合計700万円のスポンサー収入獲得
	2028年度以降	1000万円のスポンサー収入

広報

目的

- ◎ パラ・パワーリフティングの活性化・選手強化
- スポンサー獲得
- ブランディング・イメージアップ

ゴール

- ◎社内広報でチームカアップに貢献し選手強化に貢献
- 企業に自分たちにとって必要・有益・価値があると納得し活用したいと感じる。
- パラ・パワーリフティング＝上げる×応援×インクルージョンが浸透する
- 筋トレ関係者以外の人たちも興味関心を持つ。

広報

◎社内広報でチーム力アップに貢献し選手強化に貢献

オウンドメディア（※）とInstagramの活用 ※新しく取り組む

○企業に自分たちにとって必要・有益・価値があると納得してもらう。活用したいと言ってもらう。

プレスリリース（※）、エックス、メールマガジンの活用 ※発信数増

●パラ・パワーリフティング＝上げる×応援×インクルージョンが浸透する

●筋トレ関係者以外の人たちも興味関心を持つ。応援、インクルージョンについて伝えることができる

Instagram、エックスのフォロワー数と反応をアップさせる

SNSの優先度

①Instagram

②エックス

③Facebook

④Youtube

年間広報計画

		2025									2026		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発信内容	合宿・大会	強化指定選手発表	10日～11日 京都合宿	28日～29日 チャレンジカップ 京都大会	1日 世界選手権日本代表決定 9日～17日 海外招聘コーチ合宿	22日～25日 神奈川合宿	13日～14日 京都合宿	11日～18日 世界選手権 全日本実行委員会キックオフ＆学校コラボ学生向けオリエン	新トレーニングプログラム開始	コーチ合宿 全日本メインビジュアル、テーマ曲公開	京都合宿 全日本コラボ内容公開		1日～2日(予定) 全日本選手権
	ブランディング イメージアップ 社会的活動	新ビジュアル公開、作成の背景	京都NTCならではの練習環境、関係者の声 小学校授業(京都)	試合観戦、「応援」の体感、コラボ企業紹介	日本代表選手紹介 公開合宿 選手講演会 (メディア)	体験会 選手講演会 公開合宿 (一般)	日本代表参加 体験会 選手講演会 公開合宿 (一般、メディア)	日本でオンライン観戦会、応援の力の体感、応援の効果(客観的証明もしたい)	日常練習会の公開・選手との交流会	学校とのコラボ8年目、活動内容、想い	目標に向けて頑張る選手の姿	アート×スポーツ バレンタインにかけて好きが持つプラスのエネルギーの発信	
	社内広報	選手決意表明？クリエイター紹介(クリエイターが感じるパラパワーの魅力、協力の背景や想い)	京都関係者紹介	コラボ企業紹介	選考委員会の声 海外コーチの考え 日本コーチ達	メディアの声	選手の声(これまでに集めた)	企業の声	ファンの声	コーチの声	学生の声	この競技の好きな気持ちのシェア	観客の声 白」をテーマに文句なしの成功、白3つについてのエピソード

公開の機会 ほしい (例)

- ・ 7月：海外コーチ招聘合宿
- ・ 8月：神奈川合宿
- ・ 9月：京都合宿
- ・ 11月：東京日常練習会

強化行事に参加したい

- ・ チーム力アップに貢献するため選手やコーチ関係者とのコミュニケーションの時間を作りたい
⇒ 社内広報やプレスリリースで想いの発信や共有、それぞれの違いについて知る機会に。